

町田・相模原の経営をリードする町田・相模原経済同友会

武相エコノミスト

第13号

2020.1.1

BUSO ECONOMIST

thirteenth issue

2020年 新春スペシャル鼎談

相模原市長

本村 賢太郎

町田・相模原経済同友会 代表幹事

井上 博行

町田・相模原経済同友会 副代表幹事

本間 俊三

企業と人

株式会社家具の大正堂 渋谷金隆

武相エコノミスト

題字 小山克己 株式会社三和 代表取締役社長

表紙の人

相模原市市長の本村賢太郎氏を中央に
井上博行代表幹事(左)と
本間俊三副代表幹事(右)。
2019年12月、市庁舎で行われた対談後の1ショット

撮影 古末拓也



c o n t e n t s

11	10	8-9	7	4-6
例会報告 2019.7～12	Area Topics 南町田グランベリーパーク 駅直結の商業施設と都市公園 官民共同で挑んだ新しいまちづくり	企業と人 株式会社 家具の大正堂 代表取締役社長 渋谷 金隆	私の行きつけの店 ペダラーダ × 東京ガスライフバル澤井株式会社 澤井 宏行	2020 新春スペシャル鼎談 市民の市民によるまちづくりを目指して 対話を重ねる相模原市政を 相模原市長 町田・相模原経済同友会 代表幹事 本村 賢太郎 × 井上 博行 × 本間 俊三 町田・相模原経済同友会 副代表幹事

THINK GLOBALLY, ACT LOCALLY

町田・相模原経済同友会は2006年7月、「誰もが住みよい町田市」を目指し東京町田経済同友会として設立されました。その後、2008年4月に町田・相模原経済同友会となり、町田市と相模原市、すなわち武相の発展を目指す団体へと進化を遂げ、その実現に向け歩み続けております。

町田・相模原経済同友会の会員は、この地域において跳動している企業55社の経営者です。個々の企業経営者の「貢献する心」をベースに、業界や団体の枠を超えたネットワーク、時代の遷り変りを見る確かな目、そして問題を直視するリアリズムなど、そのリソースが最大の特色です。グローバルな視野で地域経済を捉える。つまり“think globally, act locally”な視点で調査・研究し、議論し、広く社会に影響を与えるべく行政への提言や講演会などの諸活動を行っております。また調査・研究や講演会など通じ、会員相互の交流は勿論の事、経営力の向上にも寄与しております。

会員の確固たる意志を礎に、確かな新しい時代を築くため、これまでも、そしてこれからも町田・相模原経済同友会は歩み続けます。

朝日リビング(株)	(株)三和	(株)日本アクセス 神奈川支店
(株)ありあけ	シー・エイチ・シー・システム(株)	野村證券(株) 町田支店
(株)イーグル建創	(株)JTB 相模原支店	萩生田税務会計事務所
(株)ヴィレッジ	住友生命保険(株) 町田支店	(株)八朗平
SMBCE日興証券(株) 町田支店	西武信用金庫 町田支店	東日本電信電話(株) 東京西支店
(学)桜美林学園	(株)セレモア 相模原本社	ファミリーパートナーズ(株)
(株)オーディオテクニカ	千寿産業(株)	(株)フィルツ都市建築設計
(株)折本設備	(株)創建	細野コンクリート(株)
(株)カイセ工業	損害保険ジャパン日本興亜(株) 町田支社	(株)ホームリーダー
(株)家具の大正堂	第一生命保険(株) 町田支社	(株)ホンマ電機
加藤商事(株)	大和証券(株) 町田支店	(有)マサハ
(有)角松屋	(株)タウンソアーズ	(株)町田双葉
(株)ギオン	(学)玉川学園	(株)松田設備
(株)協栄	多摩信用金庫 町田支店	(株)三菱UFJ銀行 町田支店
(株)きらぼし銀行 町田支店	(株)竹清会	(株)三ノ輪建設
草薙一郎法律事務所	(医)直源会 相模原南病院	睦特殊金属工業(株)
(株)キューホールディングス	東京ガスライフバル澤井(株)	(株)ユニコーン
相模原土地開発(株)	(株)東京綜合造園	(株)横浜銀行 相模原駅前支店
	(学)東京町田学園 町田・デザイン専門学校	

2020年 新春スペシャル鼎談

市民の市民によるまちづくりを目指して 対話を重ねる相模原市政を

相模原市長

町田・相模原経済同友会 代表幹事

町田・相模原経済同友会 副代表幹事

本村 賢太郎 × 井上 博行 × 本間 俊三

2019年4月の相模原市長選を経てスタートし、市政に新風を吹き込んでいる本村賢太郎市長。
リニア中央新幹線新駅や相模総合補給廠一部返還地のまちづくり、一方で台風19号による災害からの復旧・復興など
さまざまな課題に向き合う市長に、井上代表幹事、本間副代表幹事の2人が市政の目指すところを伺った。



「まちづくりと未来の幸せは市民の声で決めていく」

本村 賢太郎
相模原市長
市立相模台中学校から県立麻溝台高校、
青山学院大学卒業、本村和喜参議院議員秘書、
東鉄工業を経て、藤井裕久衆議院議員秘書
2003年神奈川県議会議員(2期)
2009年衆議院議員(3期)を経て
2019年4月22日より相模原市長に就任
座右の銘は「政は民にあり」
長所は、何事も前向きに挑戦すること

井上 改めまして本村市長、ご当選おめでとうございます。私も町田・相模原経済同友会としてもぜひ応援させていただきます。今日はまず市政運営に関する基本的な考え方をお聞きできればと思います。

本村 市政を進める上で、まず何より大切と考えているのは市民に開かれたまちづくりです。当選前からの公約で「市長室の扉をなくす」と申し上げてきましたが、実際に現在、市長室の扉は全部開け、外からも見えるようにしています。そして市民の皆さんとの対話を重視していきたいと思っています。7月からは「まちかど市長室」というものを立ち上げまして、各区を回り、20人ほどの方と1時間半ほど膝を交えて意見交換をする場を設けています。どんどん出て行つて対話を重ねたいですね。

井上 期間限定などではなく、それをずっと

と続けていかれる。まさに草の根といいますか、本当に素晴らしいですね。そうした中で「シビックプライドの醸成」に取り組むということもおっしゃられていますね。
本村 「シビックプライド」に関しては市長選に出る大きなきっかけにもなっています。一昨年、読売広告社が首都圏1都6県と関西圏2府4県の10万人以上の都市151自治体の人々に「自分たちの町に誇りや共感、郷土愛をお持ちですか」というアンケート調査を実施しましたが、相模原市は残念ながら151自治体中の149位だったのです。

本間 相模原市の魅力をもっと知ってもらいたいということですね。

本村 そうですね。相模原市には今後リニア中央新幹線新駅が設置される一方、その駅から車で10分も走れば蜚が見れる里山もある。神奈川県の水源地域として県民の6割の水を相模原市が供給する水源

地域でもあります。そういう恵まれたところは少ないですから、「都市部と自然とのベストミックスができる相模原」を目指していきたい。相模原市の魅力をシビックプライドという形で表して、市民の誇り、共感、郷土愛の醸成を図っていきたいと考えております。

本間 そのようなまちづくりの意識、シビックプライドの醸成とも関連するかと思いますが、「日本一のSDGs都市相模原へ」と掲げていらっしゃいますね。

本村 SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは Sustainable Development Goals、「持続可能な開発目標」ですね。ご存知のとおり、2015年の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための17のゴール(目標)と169のターゲット(取り組み・手段)から構成されています。

それを市として推進していくというわけですが、現在策定を進めている次期総合計画の基本計画の中で各政策をSDGsと絡めて、「この政策はSDGsの何番ですよ」と紐付けながらやっています。

ただ、実際就任してみると、市の職員自体が必ずしもSDGsを理解していない。そこで職員の研修はもとより、5月の若葉まつりで缶バッジを作つて市民に無料配布をしたり、シンポジウムに参加したり、小学校で子どもたちに勉強会を行ったりしています。

井上 SDGsは企業人であれば意外と触れるキーワードかもしれませんが、主婦や子どもたちにはなかなか触れる機会がないかもしれませんね。

本村 たえば誰でもできる取り組みとしては、スーパーでお豆腐を買う時に賞味期限が間近かなものと1週間後のものがあつたら心理的には賞味期限が長いものが

ほしいですが、お願いしたいのは期限が短いものから買つていただく。これは食品ロスの削減につながります。企業や団体との連携も大事なのですが、一人ひとりが活動することでSDGsの達成に向けた取り組みの推進が図られることから、なるべく実例を挙げて説明するようにしています。3月には相模原青年会議所と「SDGs協働推進宣言」を行いましたし、次は津久井青年会議所とも行う予定です。

本間 民間の一企業人として、私は地球温暖化対策協議会にも参加しています。SDGsに関しても企業の方はまだまだお付き合ひ程度にやつてるところも多いですね。その点では、企業がもっと本気になつてやる気を出すようなアイデア、施策もぜひ考えていただきたいと思っています。

本村 検討したいと思います。SDGsとシビックプライドについては、今度市長公室を作り、それぞれ推進のための専門部署を

井上 相模原市には広域的な課題もたくさんあり、課題解決にはやはり民間の力を活用しては、と思います。私どもが町田と相模原で経済同友会を立ち上げた意味合いもそこにあります。相模原で計画したものは町田でも取り入れる、逆もまたしかりと、そういう目線も必要かと思っています。

本村 そうですね。町田と相模原は境川を境にしていますが、両市を合わせれば人口は115万人。現在も境界線の変更をしていますが、将来は道州制の中で一緒の方向でいいのではないかと私は思っています。そもそも国の第5次「首都圏基本計画」の業務核都市として、町田と相模原は一つとして位置付けられていますね。

井上 大規模開発としては、リニア中央新幹線新駅の開発や、相模総合補給廠一部

「草の根とともに、大きく俯瞰的な構想も」



井上 博行
町田・相模原経済同友会 代表幹事
町田・デザイン専門学校 理事長・校長
1940年町田市木曾町生まれ
昭和第一学園高等学校建築科卒業
飛鳥建設株式会社を経て独立し、
設計会社を設立、78年多摩造形学園創立
82年「町田・デザイン専門学校」に改称
町田市議会議員(3期)
山野草3000株を育成している

「SDGsは企業にやる気を出させるアイデアを」



本間 俊三
町田・相模原経済同友会 副代表幹事
株式会社ホンマ電機取締役会長
1945年山形県鶴岡市生まれ
中央大学理工学部電気工学科卒業
1973年本間電気設計事務所(現ホンマ電機)を創業
元相模原市議会議員
NPO法人さがみはら市民交番番パト隊理事長
さがみはら地球温暖化対策協議会
調査研究部会副会長
公益財団法人やまがた育英会評議員

返還地におけるまちづくりについてのお考えもお聞きできればと思います。

本村 リニアの新駅は県立相原高校跡地に設置されることになっており、11月に起工式が行われたところです。リニアの開業に向け、新しい道路を整備する予定で、現在、都市基盤の配置について調整を行っています。

一方、相模原駅北側に広がる相模総合補給廠一部返還地のまちづくり。これについては、これまで市役所の移転やJR横浜線の連続立体交差化、コンベンションホールの建設、小田急多摩線の延伸も含め、街並みの予想図が描かれてきました。ですが、それはイメージ図で実態はまだ何も決まっています。少し過大にイメージが先行してしまっている。もちろん、夢の話も大事なのですが、「未来の幸せは市民が決める」と考えていますので、一度立ち止まって市民の皆さんのご意見を伺いながら、改めて相模原駅周辺に求められる役割や将来像を検討し、魅力あるまちづくりを進めてまいります。市民の皆さんからは、アンケート調査やワークショップ、懇談会など、検討の熟度に合わせて、様々な手法でご意見を伺ってまいりたいと考えております。今年度は、一部返還地のまちづくりのコンセプト案を検討するため、実際に相模原駅を利用している方に街頭アンケートを実施したり、市民2千人を対象とした郵送アンケートなどを実施しました。2020年度以降も開かれた手法で市民の皆さんの意向を

把握し、市民が参画する会議等で導入すべき機能や方針、具体的な実施計画を定め、2022年度を目標に国有財産審議会に諮ってまいりたいと考えています。

井上 たえば横浜市であれば、横浜、みなとみらい、新横浜の3点で独自の形を作っています。相模原市の場合も俯瞰的な開発の構想も大切かと考えます。

本村 はい。相模原駅、相模総合補給廠一部返還地と橋本は実は約3kmしか離れてないんです。ですから、将来はたとえば、無人運転など新交通のモビリティでつないで移動できるようにとか、一体となったまちづくりをしていきたいと私は思っています。

案としては相模原も橋本もまだまっさらなんです。そのキャンバスにどんな絵を描いていくか、それを市民の皆さんと対話して決めていきたい。ただ、新横浜にしても新幹線が整備されてから30年かかっていいます。もちろん、橋本も相模原も10年後を構想しますが、本当に街ができるには20年、30年かけて取り組んでいく必要があるでしょうね。

本間 もう一つお聞きしたいのは、10月の台風19号では、緑区に甚大な被害がありました。同地区の道路は、オリンピックのロードレース競技のコースにも設定されており、その復旧や復興状況に関してもお聞かせください。

本村 昭和29年に市制を施行して以来、

初めての大きな災害に見舞われました。先ほど都市部と自然のベストミックスの相模原を目指すという話をしましたが、被災地の津久井地域はまさしくお金では買えない自然に恵まれた場所でもあります。今回そこで記録的豪雨により8名の尊い命が失われました。改めてご冥福をお祈りしたいと思います。また、現在も約150名近い皆さんが避難をされていらつしやいます。道路の損壊約350箇所、土砂災害約150箇所、家屋の損壊浸水300棟にわたる被害があります。

その中で連日さまざまな団体や企業から寄付や義援金をいただいております。ボランティアについては、すでに3000名を超える方々に市内外からご参加いただいております。市としては、罹災証明書の発行や家屋の調査、みなし仮設や市営住宅の提供等々、とにかく被災者の皆さんに寄り添って、これからの活動を続けていかなければなりません。

本間 私も以前、新潟の水害でボランティアに行ったことがあります。そのとき被災者の人たちがボロリと言われた言葉が印象的でした。それは「いずれこの災害も忘れられてしまう。どうか忘れないでいて下さい」ということ。ぜひ市長もわれわれもそのような気持ちを持ち続けていけば、被災者の人たちが元氣が出ると思います。

本村 国道413号については、山梨県の長崎知事とも話しております。やはり通れなくなった国道20号、中央自動車道を含

め、国に対して連携して訴えかけをし、強化についても力を合わせていこうと約束しました。今回は国の激甚災害指定をいただき、413号の崩落箇所の内、2カ所は国の代行で24時間体制で復旧作業を進めており、かなり頑張っていたいただいています。

オリンピックでは自転車ロードレース競技が開会式翌日の7月25日に男子が、26日に女子が行われますが、そのコースに相模原市内30km、国道413号が含まれます。特に津久井地域の山路は駆け引きが満載の見どころもあり、もしこが使えないと東京や山梨のコースもすべて変わってしまうことから、非常に責任があります。被災した津久井地域の皆さんも自転車ロードレースは必ず実施してもらいたいとおっしゃってますし、私たちは被災した自治体として、オリンピック開催が復旧・復興のシンボルだと位置付けています。また、オリンピック後は自転車ロードレースの国際大会をレガシーとして誘致したいとも考えています。

本間 被災はマイナスですが、そこから力強く立ち上がる、誇りが持てるまちづくりにつなげていくことは大切ですね。

本村 津久井地域の商工会青年部の人たちには、今回の災害を契機に、相模原が一つになった気がするという言葉をいただきました。やはりワンチームになって次の世代にたすきを繋いでいくというのが僕らの役目であり、大きな課題だと思っています。

ですが、お店を利用して、三井さんのような志を応援したいという気持ちもあります」

同店は着席で約80席、立食で最大150名と、スペースも町田市最大級で、プロジェクターやマイクなどの機材も充実。人数に合わせたレイアウトやさまざまなコース料理とそのアレンジが可能なのもあり、年間120回を超えるパーティの実績もある。

そしてペダラーダといえば人気なのが「とろけるハンバーグ」と「熟成ハラミステーキ」。澤井氏も大好きだというハンバーグは、つなぎ不使用の国産牛100%で、目の前で自分で焼き上げ、味わえるのも醍醐味。肉々しく、とてもジューシーだ。今後は「チキンやポークの料理にも力を入れる」とのこと。ポルトガル語で「ペダル」を意味する店名には、共に前進するという想いが込められている。さらなるメニュー開発にも余念がなく、ますます楽しみだ。



上) 澤井氏(左から2人目)とオーナーの三井氏(左から3人目)
中・下) 駅から徒歩圏の好立地。着席なら50名、立食なら80名まで対応が可能だ

私の行きつけの店 Vol.10

My Favorite Place



町田のビジネスパーソンを 応援するレストラン

ペダラーダ × 東京ガスライフバル澤井株式会社 澤井 宏行

小田急町田駅北口から徒歩5分。町田新産業創造センターの1階にハンバーグ&ステーキレストランペダラーダは位置している。同センターは「町田市新5カ年計画」に基づき設立された創業支援機関であり、上階は起業家が多数入居するコワーキングスペース、1階には会議や研修もできるイベントスペースもある。ペダラーダオーナーの三井康弘氏は、ウレタンスポンジなどの緩衝材を製造する三井製作所の代表取締役だが、「ビジネスマンの交流を支援したい気持ちで」2013年12月に同店をオープンさせた。

東京ガスライフバル澤井の副社長であり、町田・相模原経済同友会幹事や町田商工会議所の副会頭を務める澤井宏行氏は、こちらを食事にも、また仕事でもよく利用するという。

「隣のイベントスペースで研修会をしたあとに懇親会をすることもあれば、個室スペースでミーティングを兼ねてのランチもできる。ともかく使い勝手がよく、リーズナブルで、おいしいですからね。仕事の地産地消ではない



企業と人

Volume

7

Room's-taishodo Co., Ltd.

「森づくり」は「人づくり」

株式会社 家具の大正堂
代表取締役社長

渋谷 金隆 氏

国道16号線沿いの本店をはじめ、8店舗を展開する家具の大正堂。創業から100年を超える、武相エリアでは数少ない老舗企業だ。家具販売を始めたのは今から半世紀ほど前に遡るが、現在はリフォーム事業でも大き

く業績を伸ばしている。時代が変わり、ネット販売や低価格帯の量販店が増える中、どのように人を育て、企業を成長させているのか。そしてその先に繋がる大きな夢や地域への想いを伺った。

PROLOGUE

大正元年創業、今年で108周年を迎える家具の大正堂は、社長の渋谷金隆氏の祖父にあたる渋谷重郎氏が創業した。開業当時は原町田の商店街のほぼ中央で、文房具や雑貨を取り扱っていた。昭和29年に父の渋谷栄二氏が暖簾分けで独立。その後、人々の生活環境の変化に合わせて、鞆や傘、文具や寝具など、扱う商品も変遷をみせた。商店街に同じ屋号の店が3店舗存在していた時期もある。家具販売を始めたのは昭和39年。東京オリピック開会式の日のことだった。

現在は家具販売を主軸に、40年以上前から始めたリフォーム、耐震診断や太陽光発電システムなどの事業でも業績を伸ばしている。店舗は八王子に1店舗と神奈川県内に7店舗、まさに武相エリアに展開する。その他、ネット販売や催事販売など複数の販売チャンネルを持つ。

渋谷金隆氏が社長に就任したのは平成8年。バブルが崩壊した後もリーマンショックや東日本大震災など経済を揺るがす様々な危機の真只中を、怯むことなく現在まで歩んできた。閉じた店舗もあれば、リストラも行った。苦しい時期が多かったと振り返るが、時代を常に真正面から捉え、売り方や商品アイテムに変化をつけてきた。

PHILOSOPHY

人々の暮らしや価値観に伴い、扱う材料や販売方法は変わったが、創業以来ずっと変わらないものがある。「お客様に喜んでいただく」——その想いを何よりも大切にしていることだ。そのため、社内では人を育てることに重きを置き、商品知識研修やマナー研修などを徹底して行っている。お客様の要望に応えるためのスタッフのレベルアップが、業績だけでなく会社の成長に繋がると確信しているのだ。

そして今、多方面から注目されているのが平成24年の百周年を機に始めた森づくりだ。笹藪に覆われ、立ち入ることのできたかった本店裏山

の整備を進めてきたのには理由があった。東日本大震災や地球温暖化などの環境問題、そして社会貢献。そういった諸問題に向き合いながら社員や地域の人たちと共に生きてきた森は、夏にはたくさんのカブトムシが生息し、秋には紅葉も色づくようになってきた。引き取った家具たちは土留めの板や階段のステップにリユースされ、あちらこちらに子どもが貼ったであろうシールも見え隠れする。拾ったドングリを発芽させ、大切に育てた苗木もだいぶ大きくなってきた。この「道正山るーたんの森」は社員が休憩時間に休んだりするだけでなく、近隣の人たちにも開放され、幼稚園児が散歩で訪れたり、来店者たちが買い物帰りにお弁当を広げたりすることもあるという。

「森づくりは人づくりに似ています。どちらも簡単ではありません。とても時間がかかります。そして、手を掛け過ぎても駄目だし、その逆も駄目」森の樹種が多彩であることも、社員やお客様、社会の多様化と通じるものがある。

NEXT STAGE

大正から令和へ、時代を生き抜いていく大正堂。

COMPANY PROFILE

株式会社 家具の大正堂

創業：1912年
資本金：1億円
従業員数：500人
事業内容：家具小売り・住宅リフォーム・総合リサイクル・運送業
売上高：100億円
所在地：相模原市南区上鶴間本町9-50-45
TEL：042-701-5211

<http://www.rooms-taishodo.co.jp>

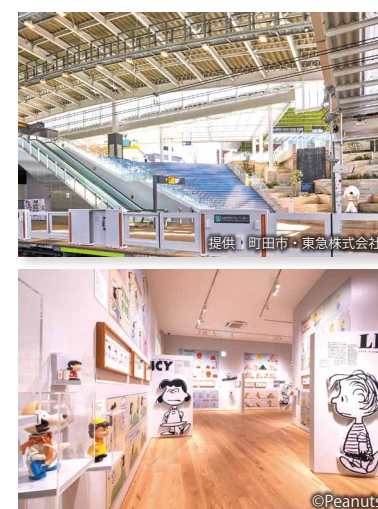


相模原市南区の本店。広々とした店内にダイニング、リビング、ベッドルームを中心に多彩な家具が整然と並び

「情報が溢れ、お客様のリクエストも厳しくなっていますが、寝ない人はいないし、食事をしない人もいない。家に帰ればソファでくつろぐし、家具が無くなることはない。これまで通りお客様に寄り添い、歩み続けていくと思います」裏山の森の木を使った家具をいつか作ってみたいという想いもある。伐採したメタセコイアは、改装した新店舗にベンチとして登場する。刻々と変化する熾烈な業界の中で事業を成長させながら、その先に大きな夢を持ち続ける経営者の姿がそこにあった。



南町田グランベリーパーク 東急田園都市線「南町田グランベリーパーク駅」直結
https://minamimachida-grandberrypark.com/



2019年11月13日、南町田グランベリーパークがまちびらきを迎えた。約22ヘクタールの広大な敷地に、駅直結の商業施設と鶴間公園が隣り合う。カリフォルニアのチャールズ・M・シュルツ美術館唯一の分館であるスヌーピーミュージアムも12月14日にオープンした。

全241のテナントが入る「グランベリーパーク」は食物販を充実させ、隣接した鶴間公園や敷地内のエリアでピクニックが楽しめる。商業施設と公園の中間に位置するパークライフ・サイトには町田市初となる民設民営の児童館や地域住民と共に育てる新しい形のまちライブラリーも登場。

この「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト」は、2017年に閉館したグランベリーモール跡地を中心に、官民が連携し、都市基盤、都市公園、商業施設、駅などを一体的に再整備し、「新しい暮らしの拠点」を創出することを目的にスタートした。高齢化や人口減少の動向を見据え、新たな住民の流入、地域の住み替えサイクルによる世代間の循環、地域住民と来訪者の活発な交流を生み出すことで、良好な住宅市街地とコミュニティを次世代に繋ぐ持続可能なまちづくりを目指したもの。オープンから2週間足らずで商業施設の来館者数は100万人を突破した。全日急行も停車し、町田市の一歩ホットなスポットとして今、大きな期待が寄せられている。

上)開放感溢れる駅は名称も新しくなった 中)常設展示と企画展、ワークショップルームやミュージアムショップが3フロアで展開されているスヌーピーミュージアム 下)遊び場や歩きやすい園路を充実させた鶴間公園

MONTHLY

例会 報告

July-December 2019

MEETING

第107回 2019 7/11 (木) ホテル ラポール千寿閣

「会員スピーチ」

牧野 正氏「旅行業と私」
伊藤俊一氏「人生五毛作～人に恵まれて～」

主に法人向け旅行を扱うタウンツアーズ牧野氏は、旅行業界の現状や福島応援ツアー等を紹介。町田双葉の伊藤氏は、京大卒の経済人がうなぎ屋を経営するに至った偶然の出会いなどを、感情豊かに話されました。



第108回 2019 9/19 (木) ホテル ラポール千寿閣

「今さら聞けない?改正消費税」 T&A三宅会計事務所 税理士 三宅真弥氏

消費税率改正を目前に控え、軽減税率の概要や対象品目などを分かり易く説明され、2023年施行予定のインボイス方式による2000億円の税収見込みも解説。会員や経理担当者が真剣に聞き入っていました。



第109回 2019 10/17 (木) ホテル ラポール千寿閣

「人口激減時代の到来と町田・相模原の底力強化を考える ～3つの危機「廃業・相続・空き家」と地域力分析～」

野村證券株式会社 金融公共公益法人部 和田理都子氏

町田・相模原の人口推移や労働者予測、5つの指標による都市力、経済基盤産業、輸出付加価値額等、詳細な分析データで解説。地域性を活かす稼ぐ力の創出や、まちづくりのデザインまで新成長戦を語られました。



第110回 2019 11/11 (月) ホテル ラポール千寿閣

「これからの日本」 衆議院議員 あかま二郎氏

神奈川県第14区選出のあかま氏が、普及の目覚ましい各種SNSを皮切りにデジタル・プラットフォームのGAFAや、2020年春開始の次世代通信・5Gを解説。経済人として向き合うべき、時代の最先端の講話でした。



第111回 2019 12/12 (木) ホテル ラポール千寿閣

忘年例会 ～クリスマス交流親睦会～

今年は趣向を変え、しっかりとジャズを楽しむ大人向けの年納め忘年例会。クリスマスらしいBGMに載せて、会食をしながら新旧の会員が終始和やかに交流を図り、来年に向けて一年を締めくくる3時間でした。



武相エコノミスト

第13号

2020年1月1日発行

発行 町田・相模原経済同友会

〒194-0022 東京都町田市森野1-25-19 パレス熊沢part1-2F
TEL/FAX 042-726-3577

制作 株式会社VisionDesign

町田・相模原経済同友会入会のお申込み・お問合せは
TEL 042-726-3577
http://www.ms-doyukai.jp/

※本紙掲載の写真、記事、ロゴの無断転載、および複写を禁じます



売買・賃貸・管理・リフォーム・耐震

朝日リビング株式会社

感謝の心を忘れずに、これからも、ずっとこの街と。
朝日リビング株式会社は、1972年創業。
次の50年も、貴方と共に。

東京・神奈川・千葉・埼玉 一都三県を結ぶ、朝日リビングネットワーク



- ・町田本社営業部・十日市場営業所・千葉ニュータウン営業所
- ・多摩営業所・金沢営業所・大宮営業所・志木営業所
- ・新宿営業センター・湘南辻堂営業所・横浜営業所・柏営業所



〒194-0022

東京都町田市森野 1-8-3 丸昌町田ビル 2F・3F

☎: 042-726-5211

<https://www.asahi-lv.co.jp>



ビジネスにレジャーに快適な立地。

朝日ホテルチェーン株式会社

大和第一ホテル

<http://www.yamato-daiichi-h.jp>

町田・相模原経済同友会様

特別プラン

お一人様
¥5,500-

(税金・サービス料込)

シングル 10㎡

※ 通常料金 ¥7,980-

朝食付き

お一人様
¥6,300-

(朝食・税金・サービス料込)

シングル 10㎡

※ 通常料金 ¥8,860-

■ 左記料金は通年とさせていただきます。

■ 小田急江ノ島線・相鉄線／大和駅

小田急改札口より、徒歩2分！

〒242-0021

神奈川県大和市中心1-3-19

☎: 046-262-2311

※ ご予約の際は、まず
「町田・相模原経済同友会」
と、お申し出下さいませ。